第45号
昭和35年(1960)
7月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)750番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(6月末日現在)
世帯数 7.274
人口 38.312人
男 18.547人
女 19.765人

今月の市税
◁ 固定資産税 第2期
◁ 都市計画税 第2期
◁ 軽自動車税 随時分
納期 7月30日

子供を水難から守ろう!!

水泳についての親の心得

いよいよ水泳の時期をむかえました。父兄のかたがたも入ること。

この水泳についていろいろ注意としておられることと思いますが、もう一度考えていただく意味で水泳における一般的注意についてお知らせして水泳による事故の発防止に万全を期したいと思います。

水泳における一般的注意

水泳は、最も効果的な夏の健康増進方法ではありますが反面多くの危険性を伴なっておりますから次の水泳心得を守っていただくようお願いいたします。

1 健康を害している場合はもちろん、空腹や、疲労時、食事、激動の直後等のときは泳がないこと。

2 水泳に行くときは、必ず水泳に自信のある者と同行し出発する前に家族に行く先、帰宅の予定時刻、同行者を知らせること。

3 危険な場所、不潔な場所または未知の場所では泳がないこと。

4 学校で指定した場所以外では泳がないこと。

5 水に入る前には、必ず準備運動を行なうこと。

6 水に入るときには、除々に入ること。

7 ひとり離れて泳がないこと。

8 水泳中は、絶対にわるふざけをしないこと。

9 長時間にわたる水泳は行なわないこと。

10 災天下では、日射病の予防に注意すること。

11 けいれんを起したとき、あぶないとき、おぼれた人を見たとき、大声で近くの人の助けを求めること。

なお、昭和三十四年における水難事故死の発生状況を見ますと十七才までの水死者中年令別に見ると七、八、九才と いつた小学生が最もあぶない時期であることが、統計に表われておりますから特にこの年令層には充分な注意をお願いいたします。(学校教育課)

青年体験発表会

実施される

六月十九日上塩小学校において市教育委員会、市連合青年団主催のもとに開催した青年体験発表会並びに「青年の主張」の会の入賞者は次のとおりです。

◎体験発表の部
一位 杵淵常固 (下塩谷)
◎村づくりのために
二位 関根松男 (中塩谷)
◎農村青年よ農村を護らうなかれ
三位 渡辺弥生 (上塩谷)
◎青年学級と共に
四位 渡辺重昭 (上塩谷)
◎明かるい農村をめざして
五位 渡辺重昭 (上塩谷)
◎青年の主張の部
一位 関根秀世 (下塩谷)
二位 土田長吉 (下塩谷)
▽自由と平和を求めて
三位 酒井スヨ (上塩谷)
▽批判精神を身につけよう
なお、特別発表として、葛綿青君(上塩谷)が県青年県外研修生として参加した新潟県研修会における研修報告があり、全国大会に県代表として出場した山井透君(上塩谷)の澄林計画について実践発表が行われ有意義な一日を過しました。
(社会教育課)

公民館事業の解説 ⑧

従来旧村単位に ひとつづつ独立公民館が設置されておりましたが、専みます と、各谷ごとに専任職員の配置が得られず、そのうえ職員の欠員があつたりして実質的な活動がよくできませんでした が、昨年この独立公民館を整備統合して、栃尾町にあった公民館と栃尾市公民館とを分館として再発足しました。

その一カ年を振り返ってみますと、各谷ごとに専任職員一名を常時派遣し、そ の対象区域を担当して以来その活動はめきき上昇し公民館本来の性格を発揮してきました。

特に一部地域においては実際生活の中に公民館活動をとり入れ、蔬菜経営の面や日常生活の中で生きた利用をしている家庭もでてきております。

公民館事業に積極的なご意見を

公民館の仕事は、穂物の座、講習会等の教育事業や館外において行なう学級や講習会、講演会、見学会、全法人の社員加入によって、愛と奉仕の使命を果す赤十字社員に加入くださるよう皆さんのあたたかいご協力をお願い申し上げます。

つきましては、近く区長さんを通じて、この赤十字社員に加入していただくようお願いいたしますので、よろしくご協力願います。

愛の手をつなぐ戸毎の赤十字!!

日赤事業にご協力を

ことしもまた赤十字運動がくり広げられることになりました。市の目標額は、三十一万九千円で社員数になおしますと三千百九十人であります。

当市の社員数は、三十四年度末で千六百人に達しましたこれも市民の皆さんのご理解あるお力添えの賜と感謝しております。

皆さんもすでにご承知のとおり、この赤十字運動は、社員になられたかたがたの納めてくださる社費によって一家の災害にも日赤救護物資の形で贈られたり、青年の健康を守る運動や、無料巡回診療の経費となるのです。

島田橋(上塩谷地区内)を永久橋に

市道滝之口~八塩川線の島田橋(上塩谷地区内)がいたんだため永久橋にかけ替えることになり、さる二十五日庸 ことしもまた赤十字社員の使命を果す赤十字社員に加入くださるよう皆さんのあたたかいご協力をお願い申し上げます。

つきましては、近く区長さんを通じて、この赤十字社員に加入していただくようお願いいたしますので、よろしくご協力願います。

自動電話に切替え

待望の自動電話の切替えが七月三十一日早朝零時を期して行なわれる予定であります。

公民館ニュース

(略)市公民館)

肢体不自由者の巡回相談実施

皆さんの家に手足の不自由なかたはおられませんでしょうか。

きたる七月二十八日(木曜日)栃尾保健所で新潟大学の医師が手足の不自由なかたを無料で診断してくださることになりました。また、その診断結果についても今後どのような措置をとったらよいか、費用はどのくらいかかるか、どうしたらよいかなどいろいろ相談に応じてくださることになっております。

なお、当日診断できる人数は六〇~七〇人位であります(受診者は午前中においてください)。

1 該当者 手足の不自由な人
2 担当医師 新潟大学整形外科医師他二名
3 とき 七月二十八日(木曜日)午前九時から
4 ところ 栃尾保健所
5 その他 昼食の用意をして来てください。

電話局開局後の市役所電話番号

近く栃尾電報電話局が開局されますが、開局されますと市役所の電話番号が次のように変りますのでお知らせいたします。

(二一五一番代表番号
(二一九番消防専用(火災発生の場合のみ)

記のこと(発表はペンネームでもよい)

人事発令

△ガス水道課長(水道課長)山田 [illegible]
△ガス水道課(総務課)那須秀男
△同上(水道課)佐藤信夫
△同上(水道課)林義信
△同上(水道課)三本チイ
△同上(水道課)田伏秀雄
△同上(水道課)平井俊美
△同上(総務課)内山英吉
△同上(総務課)大橋正行
△同上(水道課)亟沢源兵工
△同上(水道課)山本一二
△同上(水道課)小貫
△同上(水道課)大野
△同上(水道課)本所
△同上(水道課)下塩
△同上(水道課)平賀光士
△同上(水道課)大橋庫之助
△同上(水道課)佐藤養正
△同上(水道課)伊東
△同上(水道課)山井竜三
△同上(水道課)大橋庫之助
△同上(水道課)大橋庫之助
△同上(水道課)大橋庫之助